

第 82 回 「三縁の会」 since 2010

～若者が集い、志縁・尊縁・結縁で日本を元気に～

ディスカッションの要旨

「出でよ！若き起業家たち」-若者の「夢の実現」を応援しよう-

<2019年(令和元年)9月26日(木) with you>

<ディスカッション登壇者>

- 藤井 哲也 様 (株式会社パシオ 代表取締役)
- 有村 時光 さん (龍谷大学 1 回生)
- 上田 千尋 さん (関西外国語大学 3 回生)
- 孫 燕妮 さん (京都女子大学 博士前期課程 留学生)

<進行>

- 仲田 匡志 様 (NPO 法人グローバル人材開発センター 事務局長代理)

<有村さん>

My Dream・私の夢

私は自分を表現できる、素直になれるきっかけをつくる「服のブランド」を立ち上げる夢を持っています。

そんな夢を持っている私ですが、ある方とお会いするまで、自分の意見が素直に言えない、人の目を気にする性格でした。そのある方とは、今インターンシップでお世話になっているベンチャー企業の社長さんで、その社長の講演を聞いて、もっと素直になっていいんだ、表現していいんだと気付き、気持ちが楽になりました。

ところが、ふと周りを見渡すと、私と同じように、素直になれない若者たちが他にもたくさんいると気付きました。「若者が素直に表現できるきっかけをつくりたい」でもそのきっかけを与えてくる「人」が必ずしも周りには限らないと思い、どんな時でも身近にある「服」がそのスイッチ(始動)になればと思い「服のブランド」を立ち上げる決意を固めました。

私の感想

普段、お聞きすることのないお話も伺うことができ、大変、勉強になりました。
たくさんの大人の方と交流でき、とても刺激になりました。

<上田さん>

My Dream・私の夢

私は香川県の生まれで、大学進学で大阪に来ました。その時、同世代のレベルの高さや違い（行動力や考え方、お金の面など）に驚いたことが夢を描くきっかけになりました。

私と都会の子との違いはどこから来ているのか。私は子どもの頃の経験や、機会や環境の違いから生まれていると考えました。

小さな頃から「学ぶことの楽しさ」を知ると、受動的な学びから主体的な学びになり、吸収するスピードも早くなります。そうすると、自分の才能が開花され、可能性が広がると思います。子どもたちに「学ぶ楽しさ」を伝え、学び方を教える場が必要です。そうした機会を、私自身が生み出したいと思い、「学ぶ楽しさ」を知り、<学び方を学ぶ場>をつくるという夢を実現したいものです。

私の感想

様々に活躍されている社会人の方々と、お話しさせていただき、貴重な「経験の場」となりました。本当にありがとうございました。

<孫さん>

My Dream・私の夢

私は大学院で日本の近代工芸について学んでいます。研究のテーマは近代工芸の「造花」についてです。日本留学の前に、母国の中国で日本の「つまみ細工」を知り、舞妓さんの髪飾りを作ってみたり、大学の修士論文のテーマにすることで日本に来ました。

将来は自分も作り手・作家として、活躍したいと思っています。ですがその一方で、作家への道のりは決して甘くなく、生計を立てていけるかという心配もあり、「造花」の作り方を教える<教室の先生>になることもいいなと思っています。

日本に来て学んだことを活かし、伝統工芸の世界で仕事をしたいということが私の夢です。

私の感想

私の「おもい」を発言することで、自分の内にある「おもい（元気・夢）」がより強くなりました。

<藤井様>

1978年生まれの私の世代というのが元ライブドアの堀江さん、サイバーエージェントの藤田さんといった方々が相次いでITベンチャーを立ち上げていく世代で、起業をする機運が高くあった時代でもあったと思っています。それから少し月日は経ちましたが、今もそうした機運があるように感じています。

昨年学び直しをしたいと思い、京都大学の大学院（修士・修了）に通いました。その時、育児休暇の取得がキャリアにどのような影響を与えるかを調べてみたのですが、実は、キャリアにプラスに作用することが結果としてわかりました。

これまでは、休みを取る、無駄だと思われていたことですが、実はそうでなかったんです。

若い方が何か挑戦をされる時、失敗を恐れる傾向にあるようですが、決して無駄な失敗などはありません。たとえ周りから見てそうだとしても、それを自分にとって意義のあるものにすることができるかどうかの方が大事ですね。

若い皆さんには、ぜひ失敗を恐れずに、夢に向かって挑戦していただきたいです。

<仲田様>

現役学生さんの熱い「将来の夢」<My Dream>をお聞きし、感動いたしました。みなさんのエネルギーが、会場の会員様に伝わったことと信じています。

次代を担う若者の特権として、これからも果敢に挑戦してくださいね。応援しましょう!!

今日は、有意義なディスカッションとなりました。ありがとうございます。稲荷竜也様（日本経済新聞社 京都支社長）、加藤法生様（(株)堀場製作所 グローバル人事部長）、そして、西村幸三様（西村法律事務所・代表弁護士）からは、心にしみるご講評・ご感想・エールをいただきまして本当にありがとうございました。